

令和4年度 支援力向上委員会 活動報告

支援力向上委員会では、適切なサービスを提供するため、また、職員の資質向上のため、活動しています。

今年度は、職員研修の企画・開催、支援員の手引き作成を中心に活動を行いました。

職員研修会

10月22日(土)に福井市きらら館にて職員を対象に集合形式で開催(63名参加)

委員会からは「適切な支援に向けて」「感覚特性のアセスメントと対処方法の活用について」の2つの講義を行いました。障害別の特性や身体拘束の適正化、感覚の特性や寄り添った支援の大切さ等についての内容となりました。講義ごとのグループワークではそれぞれの思いや意見を出し合うことで共感を得られたり、新しい発見ができました。

また、外部講師の中村まゆみ氏より「職場で楽しく働くために」と題した講義をいただき、自分自身を客観的に分析しました。そして、「持ち味さがしゲーム」という、お互いの良いところをメッセージカードに書き出すというワークに取り組みました。自分あてのメッセージカードを読み、他者からの視点で自分の良さに気づくことができ、各自のモチベーションUPにも繋げることができました。3年ぶりに集合での開催となり、直接他事業所の職員との交流を図ることができ、法人内の結束がより深まったように感じます。

11月には嘱託職員とアルバイト対象にオンラインにて「適切な支援に向けて」の講義を行い、法人全体で統一した情報の共有を行いました。支援方法等に関して様々な意見やアイデアを持ち寄っていただき、こちらも盛んに意見交換が行われました。



今後も今回の研修を活かしながら、日々の支援や業務に前向きな気持ちで取り組んでいただきたいと思います。

皆様には事前課題にもご協力いただき、職員研修会が充実した時間になりましたことを感謝申し上げます。

つぐみの羽ばたき (支援員の手引き)

新入職員や他事業所に異動となった職員でも分かるように、就労継続支援A型・B型・生活介護・共同生活援助それぞれサービスごとに、支援員の手引きの作成を行いました。支援現場の流れや基本的なサービスの概要・各自の役割などの理解に繋げ、共通の意識を持って支援にあたることを目的としています。支援員として一人ひとりが自分の役割を理解し、利用者に寄り添った支援を提供することで、サービスの質の向上を目指して行きましょう。

記載内容：利用者と職員の1日の活動プログラム

サービスの目的・概要・役割・設備の基準

※サービスごとに記載

所属委員紹介 ~今年度の活動を振り返って~

委員長

恐神 さやか (本部)

今年度は、3年ぶりに集合にて職員研修を開催することができました。各自、自分の役割を確認しながら企画運営に携わることで良い経験になったと思います。この経験を活かし、支援の質の向上につなげていきたいと思っています。

副委員長

藤田 美菜 (丸岡南中)

委員として初めて集合での職員研修会となり、企画・運営を通して新たな経験を積めました。委員活動を通し色々な方と関わり、刺激を受けることで自己のスキルUPへと繋がっているように感じます。今後の支援にも前向きに取り組んで行きたいと思います。

澤 千絵 (福井)

マニュアル作りでは各サービスの概要について調べ、自分たち支援員の役割を再確認することで初心に帰ることができました。相談しながら作り上げることも達成感があり、もっと自分で調べたり勉強する力をつけていきたいと感じました。

福田 久修 (若狭)

支援力の内容に前向きに取り組む中で研修も部署部門ごとにグループを編成し集合研修で行われ意義のある研修が出来ました。そして委員の皆さんありがとうございました。

北川 真衣 (おくえつ)

今年度初めて支援力委員を務めさせていただきました。今年は全職員集合で職員研修会を開催いたしました。私自身、福祉経験が浅く不安もありましたが委員の皆様が温かく迎えて下さり沢山のことを学び、自身も成長できたように思います。ありがとうございました。

若松 香代子 (小浜)

はじめ、委員に推薦のお話を頂いた時は不安でしたが、会議等重ねる度に楽しく参加出来るようになりました。一緒に目的をもって学んだり、協力し合えた事はとても良い経験になりました。とても素敵なチームの皆様にはたくさん助けていただきました。ありがとうございました。

滝澤 香緒里 (丹南)

はじめての委員会でもとても不安でしたが、他の委員の方がとても優しく、楽しく活動を行うことが出来ました。また今年の職員研修会では、初めての経験がたくさんでき、少し自信を持ってました。今後この経験をしっかり活かしていきたいです。

黒田 静 (あわら)

